

みんなのとしょかん



市民
図書館

TEL: (921) 4646 / FAX: (921) 4896

開館時間 午前10時から午後6時まで

*金曜・土曜(祝日除く)は午後7時まで



あたらしくはいった本 令和7年6月 貸出開始資料から

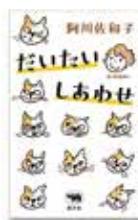
●小説 本と歩く人(カルステン・ヘン著) 一撃のお姫さま(島本理生著) ポピュリズム(堂場瞬一著) 紅色の幻(あさのあつこ著) 川は流れる(森詠著) 不等辺五角形(貫井徳郎著) 携帯遺産(鈴木結生著) 対決の記者(本城雅人著) 漂着物、または見捨てられたものたち(ルーシー・ウッド著)

●随筆・詩などの文学 だいたいしあわせ(阿川佐和子著・絵) 今日は昨日のつづき(谷川俊太郎著) なみまのわるい食べもの(千早茜著) 知性について(内田樹著)

●その他の本 スマホが「老後の暮らし」をもっと楽しく楽に変えてくれる(恒川年昭著) ひんやりごはん(蓮池陽子著) 絵でわかる台風のメカニズム(宮本佳明著) 山に登るなら知っておきたい山の気象がわかる本(矢野政人監修) 米粉はミライ!(石井里津子著)



カルステン・ヘン著
『本と歩く人』
(白水社)



阿川佐和子著
『だいたいしあわせ』
(晶文社)



恒川年昭著
『スマホが老後の暮らしを
もっと楽しく楽に変えてくれる』
(株式会社すばる舎)

8月 としょかんカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

○印の日は、
お休みです。

古代山城と大宰府(4)
文献史料から考える
古代山城
畿内に近いばかりではなく、侵攻軍

一方、同6年には高安城(奈良・大阪)、屋嶋城(香川)、金田城(長崎・対馬)の築城が記されています。両年の築城を関連させて、同4年の中核といえる

このとき重要なのは、先述の第一城の築造、同4年に長門国の城(城名不明)、大野城・橡城(基肄城)の築城が記されており、これらが大宰府をとりまく古代山城の中核といえます。一方、同6年には高安城(奈良・大阪)、屋嶋城(香川)、金田城(長崎・対馬)の築城が記されています。両年の築城を関連させて、同4年の中核といえる

太宰府市公文書館

重松
敏彦

古代山城に関する文献史料はきわめて限られており、古代山城のありようを明らかにすることを難しくしているのですが、高安城は

があり、これは「古代山城と大宰府」の問題を考える際、単に大宰府周辺や北部九州地域に注目するだけでは不十分であることを示している

が、古代山城に関する文献史料はきわめて限られており、古代山城のありようを明らかにすることを難しくしているのですが、高安城は

このとき重要なのは、先述の第一城の築造、同4年に長門国の城(城名不明)、大野城・橡城(基肄城)の築城が記されており、これらが大宰府をとりまく古代山城の中核といえます。一方、同6年には高安城(奈良・大阪)、屋嶋城(香川)、金田城(長崎・対馬)の築城が記されています。両年の築城を関連させて、同4年の中核といえる

このとき重要なのは、先述の第一城の築造、同4年に長門国の城(城名不明)、大野城・橡城(基肄城)の築城が記されており、これらが大宰府をとりまく古代山城の中核といえます。一方、同6年には高安城(奈良・大阪)、屋嶋城(香川)、金田城(長崎・対馬)の築城が記されています。両年の築城を関連させて、同4年の中核といえる

太宰府の文華／公文書館だより